

～新規採用職員のご紹介～

仁淀川地区では佐川町で4月1日、令和3年度の新採用職員入組式を開きました。大原光鶴統括常務は「仁淀川地区は県下有数の園芸地区。また山間部では重要な生活インフラを担っており、JAは地域で重要な役割を担っている。協同の心を大事にし、自分たちで新しいJAを創る気持ちで、失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジしてほしい」と激励しました。新採用職員は以下の通りです。



● 大野 早葵

(吾川支所 信用共済課)

少しでも早く仕事を覚え、地域のみなさんのお役に立てるように頑張ります。



● 岡林 隼平

(コスモス営農経済センター
営農指導課)

初心を忘れることなく、精一杯に頑張っていきたいです。よろしく願います。



● 山崎 颯斗

(とさし営農経済センター
購買課)

早く仕事を覚え、テキパキと仕事ができるように頑張りたいです。



● 大原 かりん

(佐川支所 信用共済課)

笑顔を忘れず組合員さんに信頼されるような職員になります！

～営農経済課業務及び事業所等の廃止のお知らせ～

この度、長年にわたってご利用いただきました、下記の営農経済課業務および事業所、茶工場を令和3年3月31日を持ちまして、廃止することになりました。皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。長年のご利用ありがとうございました。

廃止する営農経済課業務及び事業所等

越知支所 横畠西事業所

池川支所 営農経済課

仁淀支所 営農経済課

仁淀支所 別枝事業所

仁淀支所 第一茶工場（西谷）

越知支所横畠西事業所につきましては、越知支所営農経済課へ、池川支所、仁淀支所の営農経済課業務及び別枝事業所につきましては、吾川支所「アグリセンター仁淀川」に拠点が移りました。第一茶工場については、吾川支所茶工場で受け込みを引き継いでおります。

佐川支所管内より



直販所では「たろうトマト」の名前で販売中!

育てたトマトは“わが子”同然!

なかしま まい
中島 真衣さん(34)

地域おこし協力隊として、家族で高知に移住して5年。“初めて食べたとき感激した”というシュガートマトを栽培中です。ハウスでは子どもたちが元気よく走り回り、“わが子”同然のトマトもすくすく育っています。

現在双子を妊娠中で仕事を控えています。「仕事したい、動きたい」と、うずうず。子どもが増えると「仕事のやる気が増えます!」と、にっこり。

にっこり笑顔でハイ!ポーズ♡

まつもと はなえ
松本 花枝ちゃん(5)

夏には家の近くの川で元気よく泳いで遊ぶおてんば娘の花枝ちゃん。今は、苦手なマスト登りを克服できるよう、パパが畑に竹の棒を立ててくれたので、練習中です!

恥ずかしがり屋で写真を撮るまでは、ママの後ろに隠れて出てこなかったけど、カメラを出したら、ぱっちりポーズをとってくれました♪パパとママは「元気に健康に育ってね」と願っています。

土佐市支所管内より



仁淀川
地区

から こんには 今月の○○ 気になる人

仁淀支所管内より



生粋の山好き!

にしもり としお
西森 敏夫さん(78)

敏夫さんが新茶を収穫している茶畑の間に、ケヤキの苗木がちらほらと。聞くと、将来を見越してケヤキを植林中とのこと。

敏夫さんは大阪でサラリーマンをしていて、62歳で帰郷。子どもの頃から生粋の山好きで、「ケヤキは、夏は日陰になるし、冬は落葉して日が当たっていい」と話します。茶の収穫を一緒にしているお姉さんからは「間伐のうまさは天下一品よ!」と太鼓判です。

ケンカするから仲がいい♡

の なみ とよかず
野並 豊一さん(79)
えい こ
英子さん(75)

昭和49年創業の「牧葉荘」の豊一さんと英子さん。皿鉢や仕出しの他、人気のメニューはすき焼き! 英子さんを中心に、豊一さんや娘さんも一緒に切り盛りしています。

豊一さんは1日6000歩のウォーキングを、英子さんは週の内何回かはラージボールを日課にしている、元気いっぱいです!

仲良しの秘訣は「ケンカやない?」と、“牧場”のような朗らかな笑顔を見せてくれました♡

斗賀野支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



締結式で「佐川いちご」を手にする植田部会長（左から2人目）とNTT西日本の林広行高知支店長（右から2人目）

1 営農

ICTでイチゴ栽培 佐川支所苺部会

佐川支所苺部会と、NTT西日本、佐川町、高知県は4月22日、ICT（情報通信技術）を利用した農業振興と地域活性化に向けて、連携協定を締結しました。それぞれの強みを生かし、新規就農者の増加に向けた活動や、ブランドイチゴ「佐川いちご」のPR、植物工場でのイチゴ栽培などに取り組みます。

NTT西日本は、植物工場でのイチゴ栽培に取り組んでいて、同部会に栽培指導を求めました。将来的には植物工場の数も面積も増やし、イチゴの少ない

真夏のシニア拡大を狙います。同部会は、新規就農者の獲得や技術継承に向け、「就農しやすい環境づくり」について模索していました。佐川町は「植物を中心とした町づくり」を推進していて、三者の意向が合致し、この度の協定に至りました。

同部会の植田正和部会長は「ICTなど新しい技術も利用し、地域で稼げる農業を形にしたい。農業の魅力伝えることで、新規就農者が増えてほしい」と期待しています。



収穫作業の動画撮影

2 営農

農業の仕事動画 「あぐりマッチこうち」に掲載

ご興味のある方は「あぐりマッチこうち」をチェック！



<https://job.ja-kochi.or.jp/>

とさし営農経済センターの営農指導課、土佐市、県中央西農業振興センターが組織する「2021年度土佐市労働力確保対策プロジェクトチーム」はJA高知県の農業求人情報サイト「あぐりマッチこうち」を活用して、土佐市地域での農業労働力の確保に力を注いでいます。

同チームは4月22日、土佐市のハウスで、ピーマンの作業動画を撮影しました。求職者が農業作業を具体的にイメージできるように、作業内容を同サイトに掲載します。

道具類の紹介やハウスの入り口、ピーマンの収穫の仕方などを撮影。収穫は2度切りで行い、一つ30gを重さの目安にすることなど具体的に伝えました。ヘッドセットで作業時の目線でも撮影し、臨場感あふれた動画に仕上がる予定です。

とさし営農経済センター営農指導課の籠尾良洋係長は「動画で仕事内容を事前に伝えることで、よいマッチングにつながる。農家と労働者の双方にとって、利用しやすいサイトにしていきたい」と話しました。

5 営農 春の味覚 ゼンマイ栽培「楽しみ」



手際よくゼンマイを収穫する川崎さん

仁淀川町道芝地区の川崎満子さんは、ゼンマイを20[㍓]で栽培し、3月下旬から4月下旬まで収穫。ゼンマイをゆでて天日干しともみを繰り返し返し、赤みがかった干しゼンマイに仕上げます。

同町にある「茶農家の店あるなろ」では「川崎さんの干しゼンマイは大きくてプリプリしていて味がよい」と好評。川崎さんは茶畑跡に花桃を定植しており、「春は花桃で人と交流し、ゼンマイを収穫するのが、毎年の楽しみ」と話しました。

3 営農 露地ショウガ定植順調



定植を進める井上さん

いの町槇地区の井上繁利さんは4月22日、10[㍓]の農地に600[㍓]ほどの種ショウガを植え付けました。

井上さんは5年ほど前から、いの町、JA高知県などが町内の小学校で実施する「ショウガの授業」で栽培を紹介しています。「今年も依頼があれば、栽培したショウガを持参して紹介したい。小学生に地域の特産物のショウガへの理解を深めてほしい」と話しました。

井上さんは70[㍓]で露地ショウガを栽培。定植は5月中旬まで続きました。

6 組織活動 高齢者福祉センター 20年の歴史に幕



閉鎖式では花束の贈呈が行われました

仁淀川地区組合員課の高齢者福祉センターは3月31日に閉鎖式を行いました。

2000年4月にスタートした介護保険制度に合わせて、同センターを設立。訪問介護や居宅介護支援の事業などを行ってきました。大原光鶴統括常務は「20年間で延べ約1万人へのサービス提供を行うなど、地域社会への貢献ができた。永年に渡る事業への尽力に感謝と敬意を表します」と話しました。助けあい組織「にこにこ会」の実施するサービスは継続して行います。

4 営農 一番茶摘採 異例の早さ 池川茶業組合



一番茶を摘採する品原組合長ら

池川支所管内の池川茶業組合は、昨年よりも1週間ほど早い4月8日から、県内産地のトップを切って一番茶の摘採を始めました。

35[㍓]を栽培する同組合の品原伸組合長も11日から仁淀川町寺村地区にある茶園で、摘採を始めました。「順調に生育して、茶葉がとてきれいな。最近では一番の出来」と喜びました。「消費者には、茶を飲んでコロナに負けず頑張ってもらいたい。おいしい土佐茶の新茶をぜひ味わってほしい」と話しました。

えいのう〜



あなたもチャレンジ! 家庭菜園

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

ブロッコリー 側花蕾を春まで取り続ける

園芸研究者 ● 成松次郎

ブロッコリーは冷涼な気候を好み、生育適温は18〜20度です。小さいときは高温に強いが、つぼみの肥大期には耐暑性が弱くなります。一方、耐寒性もあまり強くなく、氷点下2度以下で凍害を受けやす。

7月下旬〜8月中旬にまき、11〜12月に頂部の花蕾(からい)を収穫し、その後側枝から小さい花蕾を春まで取り続けます。

「品種」花蕾が作られる早晩で早生、中生、晩生に分けられます。中生品種が作りやすく頂・側枝花蕾兼用の「ハイツSP」(タキイ種苗)、「緑嶺」(サカタのタネ)などが一般的です。「スティックセニョール」(サカタのタネ)は小さいつぼみで茎が柔らかく、たくさん取れる家庭菜園向きの品種です。

「苗作り」直径7.5〜9cmのポリポットを使い1ポット当たり3〜4粒をまき、本葉2〜3枚以上で1株の間引きします(図1)。苗作りの期間中は、寒冷しやで害

虫の飛来を防ぎます。

「畑の準備」植え付け2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gをまいて、深く土を耕しておきます。植え付け1週間前に畝幅70〜80cm、深さ20cmの溝を掘り、この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥2〜3kgを施し、土を戻してよく混ぜて、高さ10cm程度の畝を作っておきます(図2)。

「植え付け」本葉4〜5枚の頃、株間45cm程度に植え付けます(図3)。植え付け前には、植え穴に十分灌水(かんすい)して植え傷みの少ないようにします。

図1 苗作り



図2 畑の準備

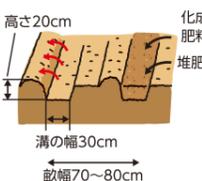


図3 植え付け



図4 収穫



「追肥」追肥は植え付け後20日ころ株元に化成肥料を1株10gくらいまいて、土寄せします。2回目は花蕾が見える頃に施用します。また、頂部の花蕾を収穫後、側枝の発生を促すため、10gくらい与えます。病害虫防除(ヨトウムシ、コナガなど)が多いので、トラロー水と剤CTなどで駆除します。

「収穫」花蕾が大きくなり、小さいつぼみはつきりと見え、固く締まった状態が収穫適期。長さ15〜20cmに切り取ります(図4)。頂花蕾の収穫後、側枝から発生する小さい花蕾を春まで取り続けることができます。

ためしてみ!! イチオン商品



国産小麦の小麦粉づくりの冷やし中華・ごまだれ冷やし中華

Aコープ・直販店で取扱中!
(店舗によっては取り扱いがない場合もございます。ご了承ください)



そろそろ冷たい食べ物がおいしくなってくる季節! 「国産小麦の小麦粉づくりの冷やし中華」は、つゆやソースがよく絡まるよう麺に凸凹をつけた「もみ切り打ち」製法を採用! コシの強い食感に仕上がっていて食べ応えがあります。まろやかな酸味の国産黒酢ダレと香り豊かなごまだれの2種類を楽しめますよ。

鳥獣被害対策専門員からのお知らせ

対策マップを作りませんか? 地域ぐるみでの対策

6月になり田の稲もずいぶん大きくなりました。インシシが田に入って悪さをすることも多くなりますので、6月中には電気柵やワイヤーメッシュ柵を張って対策するのが好ましいでしょう。

さて、今回は対策マップについてご紹介します。以前、鳥獣被害対策は地区ぐるみで行うのが効果的だと述べました。地区ぐるみの対策を行うには、地区の被害・対策状況を地区のみんなが把握していることが重要です。図1は1の町で実際に作った対策マップですが、動物の侵入経路・柵の設置状況を視覚化することで、地区内どのほ場が被害に遭いやすいか、また今後どのような対策が必要になってくるかが見えてきます。地区で被害勉強会を開いている地区も多いと思いますが、その際、この対策マップを見ながら話し

合うと良いでしょう。

鳥獣被害対策専門員は、対策マップ作成のお手伝いをしたり、地区での被害勉強会を開催しています。興味がある方はぜひご連絡ください。



鳥獣被害対策専門員 横佐古 優太



鳥獣被害についてのお問い合わせ

春野・土佐市地区
鳥獣被害対策専門員
横佐古 優太
携帯電話: 0903-8909673

ノース地区
鳥獣被害対策専門員
真辺 忠志
電話: 0889-221823
(ノース営農経済センター)



鳥獣被害対策専門員 真辺 忠志

ハウス園芸農家の皆様へ

梅雨時期(5・6月)の腐敗事故対策について



営農指導員 前田 尚吾

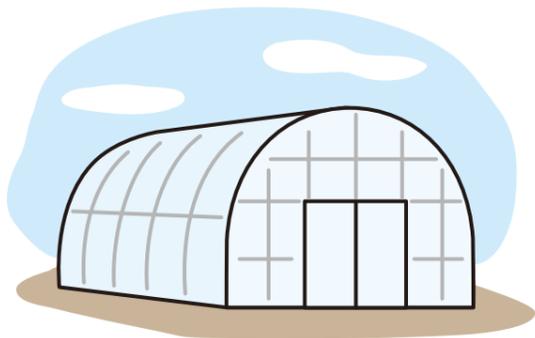
仮に病害が発生した場合は早急に治療効果のある薬剤を散布し、ハウス内環境を整えてください。なお、詳しい管理については各担当の営農指導員までご連絡をお願い致します。

対策

被害を減らす為にも天候不順にかかわらず、ハウス内環境を整えるように心掛けてください。

また、一日の平均温度が高くなるにつれ、植物の生育スピードも比例して速くなり、枝葉が茂りやすくなります。栽培している植物に応じた適切な整枝・摘葉を心がけてください。

また、蒸れ込むような日は循環扇や加温機の送風を利用し、空気を流動させれば病気の発生をある程度軽減できるので、それも方法の一つです。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

母の日、父の日、なんでもない日等々、高知で作られたお花を贈りたいと思います。

(伊野支所管内・Kさん60歳)

コロナ自粛の毎日のなかで「高知の花」のページがなげのう、何度も何度も見て生活が潤っています。

(佐川支所管内・Nさん55歳)

今はおうち時間が長いので、私はJAの直販店で美しく、かわいくて、いやされるお花が安く手に入るので、野菜を買う感覚で買ってきて毎日楽しんでます。お花を見て幸せを感じている日々です。ありがとうございます！！

(吾川支所管内・Fさん72歳)

▼なんでもない日々にも花を贈るって、素敵ですね♡そして、私も野菜感覚で直販所でお花買います♡これから、花があるのが当たり前前の生活になるというですね！コロナ禍で花の癒す力を再発見した1年でした。

今春、春野高校に孫息子が入学しました。4月号に春高生が生け花をしている写真が載っていました。花好きな私はこれから孫に花や野菜の販売が春高であったら教えてもらおうことにしています。とっても楽しみです。

(伊野支所管内・Oさん71歳)

高校生の花いけバトル、若い人頑張ってるネ。農楽コレの農作業着でもおしゃれ。これを見て作業すれば楽しいですね。

(佐川支所管内・Hさん95歳)

農楽コレのデニムサロベットとデニムもんぺパンツがめっちゃくちゃ可愛いです。普段着でも着れそう。

(日高支所管内・Nさん30歳)

▼生き生きとした表情の高校生らを見ると、元気になるですね。「農楽コレ」はナイスアイデア！決まりはないから自由な発想で、効率とおしゃれを両立して、楽しんで仕事をしたらいいって後押ししてくれているようです。

トマトが大好きです。だんだんおいしく(甘く)なり、時々むかしの大きくてちよつとすっぱい味が懐かしくなります。

(土佐支所管内・Iさん51歳)

▼キュウリ、ピーマンも昔と今では味が違いますよね！私もときどき、昔のピーマンとか、食べたくなります。

野菜の冷凍ストックの動画みたさに、スマホが苦手な母がQRコードを頑張って読み取り、食い入るようになっていました。今、我が家の冷凍庫は今年のイタドリでいっぱいなので、何を入れるのかなと思っています。

(伊野支所管内・Sさん38歳)

▼「こうぐり」をきっかけに挑戦してくださり、ありがとうございます！学んだ冷凍術でなにを冷凍したか、教えてください(笑)

近所のミルクちゃんが出ていたので楽しく見させていただきました。

(吾川支所管内・Oさん79歳)

▼ミルクちゃん、かわいかったです♡人懐っこいのに、カメラを向けると後ろを向いてしまつて…また、会いに行きたいと思います！

ねずみがいつの間にか住み着き、外に置いてあったジャガイモが被害にあい、また床下にもいる様子。撃退の道具を通信販売に載せていただけませんか。

(土佐支所管内・Iさん69歳)

▼それは大変ですね(汗)JA購買店舗ではネズミ対策の薬や道具も取り扱っています。お値段も110円台から1000円台のものも、いろいろとあるようです。まずは店舗でお気軽にご相談ください。

INFORMATION

お知らせ

大規模直販所“とさのさと”へ出荷しませんか？

出荷希望者説明会を開催いたしますので、農産物、加工品の出荷をご希望される方はぜひお越し下さい。

日時・場所

○6月22日(火)

① 9時30分～

JA日高支所2Fホール(高岡郡日高村本郷238)

② 13時30分～

JAいの支所4Fホール(吾川郡いの町駅前町221)

※土佐市にお住まいの方は、JA高知県とさし営農経済センター・販売課(電：088-850-2583)まで、お問い合わせ下さい。

説明内容

1. 出荷に係る手続き等について
2. その他
3. 質疑応答

お問い合わせ

株式会社とさのさと 直売課

担当：橋本、沼 (TEL：088-878-8722)

※新型コロナウイルス感染防止のため、マスク着用にて参加をお願い致します。

おたよりイラストコーナー



Sさん(38歳)
(伊野支所管内)



Kさん(67歳)
(越知支所管内)



Kさん(70歳)
(伊野支所管内)